



# さだ公民館だより

令和7年12月23日 117号 編集・発行 佐田地区公民館 電話：44-0312

## 佐田地区ふれあい文化祭

2025年度 佐田小学校・佐田地区 ふれあい文化祭を開催しました。

今年のテーマは、佐田の「すばらしさ」を伝える、地域の方とふれあう文化祭にしよう！

11月20日（木）佐田小学校体育館 9時開会式

- 1 ボッチャ・児童と一緒に白熱したゲーム、全員参加楽しい時間をすごしました。
- 2 発表会・学年ごとに佐田地区について学習したことを発表してくれました素晴らしい。
- 3 DVD上映・佐田地区をドローンで上空から撮影したもの、なんだか違う町に見えた。
- 4 カレーライス・女性部と児童クラブ支援員さんが作ってくれました、美味かった。
- 5 展示作品鑑賞・児童の絵や書、女性学級、編み物教室等の展示物見事な物ばかり。



## 俳句教室

令和七年十一月 第四一三号

佐田句会 十一月十八日 八名

兼題 小春 末枯 おでん

松本公節 選評

○ 懐かしやおでん屋おかみ名古屋弁 美佐子

（評）作者はさすが料理上手だけあって、料理の旬の旨い事。流石。

○ 末枯れの神の細道通り抜け まさ子

（評）さすが、ベテラン「神の細道」が秀逸。

○ じわじわと末枯れ進む峡の里 彰裕

（評）平凡だが「じわじわ」がなかなか言えない。

○ 末枯の野山も軽しウオーキング 義彦

（評）「野山も軽し」が新しく、詩になりました。

○ 冬の鯉跳ねて水輪のつぎきり 征子

（評）丁寧な写生は時間がかかって、佳い句に。

○ 風に日に抱かれながら紅葉散る 二三華

（評）どの句も多くを述べず、丁寧な観察写生で、他と違う句力を発している。

○ 紅葉散る寂光浄土かと思ふ 七栄

（評）「寂光浄土」は煩悩のない世界。美しかった。

選者吟 野の碑文掠るるままに末枯るる

次回 佐田句会は

十二月十六日 佐田公民館

兼題は 師走 冬菜畑 寒鴉



## 第18回 安心院地域ふれあい文化祭

11月22日（土）・23日（日）安心院地域ふれあい文化祭が開催されました。

22日の開会式典及び芸能発表については院内文化交流ホールで開催（例年使用していた安心院文化会館が雨漏りなど老朽化しているため使用できない、市としては修理の予算がつかないとのことなので今後はこのパターンになる事が予想されます。）

22日・23日の作品展示については、安心院複合支所内多目的室では学校関係の展示物が。また、安心院中央公民館多目的ホールでは一般関係の、編み物・生け花・書道・絵画・俳句・陶芸・手芸など様々な作品が展示されました。

会場に足を運んでいただいたみなさん、ありがとうございました。



### もういくつ寝るとお正月!!

日本の正月は、家族や友人と過ごし、伝統的な行事や特別な料理を楽しむ大切な時期です。

正月の期間 日本のお正月は、新暦の1月1日から1月7日の期間に祝われます。この期間は「松の内」と呼ばれ、特に1月1日から3日までの3日間は「三が日」として多くの企業が休業します。

伝統的な過ごし方

- 1 初詣 新年を迎えたら、初詣に行き、家族の健康や幸福を祈願します。おみくじを引くことも一般的です。
- 2 初日の出 元旦の朝に初日の出を拝むことは、縁起がいいとされています。
- 3 おせち料理 特別な料理おせちを家族で囲んで食べます。健康や繁栄を願うもの。
- 4 お年玉 子どもたちにはお年玉を渡す習慣があります。これは、子どもたちの成長を祝う意味があります。
- 5 家族との団らん 正月は家族が集まり、共に過ごす大切な時間です。親戚や友人と集まって食事を楽しむことが一般的です。

日本の正月は、伝統と現在が融合した特別な時期であり、家族や友人との絆を深める大切な機会です。ぜひ、2026年のお正月を酒でも飲みながら楽しんでください!!

くれぐれも、風邪など召さぬよう  
笑顔で新年を迎えたいと考えています。

みなさん、よいお年を!

佐田公民館だより QR コード  
スマホからカラーで閲覧できます。

